

児童生徒支援利用計画書(案) / サービス等利用計画書(案)

利用者(クライアント)氏名		障害程度区分		相談支援事業者名	千葉相談支援事業所Guardian(ガーディアン)
障害福祉サービス受給者証番号				計画作成担当者	山口 哲郎(やまぐち てつろう)
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号			

計画書(案)作成日		モニタリング期間(開始年月)		利用者同意署名欄	印
-----------	--	----------------	--	----------	---

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	<p>■入学直後より不登校傾向にて夏休み明けは2日しか登校できず(入学直後にトラブルった子との登校渋り理由から現在は複雑化。9時頃まで寝ておりゲーム三昧で起きてこず)。■PGの独り占めに困っている。■遊びや物欲などの報酬系過多な認知思考に困っている(不登校になれば俺も買って甘やかして貰えるのか…など。与え与えられてもスグ飽きてしまいその場だけで発展性がない)。■言動が未だに低学年レベルで困る。■本人曰く「2年次からは登校して授業受けたい(と担任へ本人の口から伝えた模様。担任からは「朝からじゃなくても良いから登校してみよう」と提案)」。■登校不可でもオンライン授業(県発行)に参加してほしい。勉強まったくしない(“すらら”は解約)のでして欲しい。■本人曰く「多言語の活動に平日も参加したい」。■もの作りが好きな事から「●●高専」に興味を示している。■高校や一般社会に出てからも形骸的・不適応と、現状保護下の延長線上にならないようにしていきたい。■現実的に成長し役割を得ていく事を知り、未来への希望に夢を持ち自律していきたい。</p>
総合的な援助の方針	<p>本人の発達特性および不登校状態に伴う生活・学習リズムの乱れ、対人関係面や情緒面の課題を踏まえ、安心して過ごせる居場所を基盤としながら、段階的に社会参加および学習機会の回復を図る支援体制を構築する。具体的には、学校への登校が可能となる事が理想的ではあるが、現状、放デイ等の代替的な時間帯を活用した生活リズムおよび学習習慣の形成支援を行い、学習の空白を補完するとともに、余暇活動を含めた時間の使い方を整理し、学習・活動・休息のバランスが取れた生活の確立を目指す。また、対人関係スキルおよび感情調整力の向上を目的とした年齢相応発達支援を実施し、本人が安心して他者と関わる経験を積み重ねられる環境を整える。併せて、報酬依存傾向や情緒面の特性については専門的視点からの評価を踏まえた支援を導入し、本人の自己理解および適応行動の形成を支援する。教育面においては、学校(担任等)との連携を密に図り、情報共有や相互補助を行いながら、段階的登校や居場所型支援等を活用し、出席扱い等の制度整備も課題に入れつつ、本人の心理的負担に配慮した形で取りこぼしのない教育機会の継続的確保を目指す。さらに、家庭・学校・関係機関との情報共有および支援方針の調整を相談支援事業所が中心となって統括し、支援体制の一体化を図るとともに、保護者の心理的・実務的負担の軽減を図りながら、本人の安定した生活と将来的な社会的な発展に向けたキャリア基盤の形成を支援する。</p>
長期目標(12ヶ月後)	<p>12ヶ月後の理想像として、安心して過ごせる居場所と安定した生活リズムを基盤に、成功体験を伴う学習活動や社会的交流の機会を段階的に広げるとともに、家庭・相談機関を軸とした学校(担任等)などとの連携による教育機会(出席扱い等)を活用しながら自己理解と自己効力感を高め、将来的な進学・就労機会に向けた、基礎的な学習習慣および社会生活スキルの形成を図る。</p>
短期目標(6ヶ月毎)	<p>具体的な支援目標として、安心して通える居場所として放課後等デイサービス等を活用し、外出・生活リズム・学習機会を段階的に確保するとともに、家庭・相談機関を軸とした学校(担任等)などとの連携による教育活動(出席扱いを含む)の基盤を整えながら、小さな成功体験の積み重ねを通して学習意欲および自己肯定感の回復を図る。</p>

優先順位	解決すべき課題<本人・家族のニーズ>	支援目標<本人と挑戦する目標>	目標達成時期	福祉サービス等<種類・内容・量(頻度・時間)>	課題解決のための<本人の役割>	目標評価時期	その他の留意事項
1	放課後時間帯における学習習慣の形成、及び学習の空白を改善したい	学校課題等を用いた学習を1日30分以上実施し、週3日以上継続することに挑戦する。	12ヶ月	放課後等デイサービス●● 放課後等デイサービス■ 居場所型フリースクール★★ 多世代多様性交流型クラブ▲▲	自ら率先して「自分のレベルアップの為に学習」として、ゲーム感覚で意識していけるよう努める。	12ヶ月	不登校傾向により学習機会が不足しているため、放課後時間帯において学校課題などの持参課題等を活用し、継続的な学習習慣を身につけていけるように留意する。
2	余暇時間の使い方を整理し、学習・活動・余暇のバランスを整えたい	ゲームなどの時間が、学習時間の3倍以上とならないよう、学習と余暇のON/OFFに挑戦する。	12ヶ月	放課後等デイサービス●● 放課後等デイサービス■ 居場所型フリースクール★★ 多世代多様性交流型クラブ▲▲	学習(レベルアップ)時間を確保できるように自ら「交渉」し、学習支援と余暇支援のバランスを意識して言動する。	12ヶ月	ゲームやスマホなど娯楽過多な偏向が見られる為、バランスの意識・実行に留意する。
3	対人関係スキル及び、感情調整力の向上を図りたい	スポーツマンシップや武道などの精神性(メンタル)を意識し、マインドフルネスに挑戦する。	12ヶ月	放課後等デイサービス●● 放課後等デイサービス■ 居場所型フリースクール★★ 多世代多様性交流型クラブ▲▲	集団活動等の中で、特に下級生には「自分がどのように見られるか(存在的価値)」を意識して取り組む。	12ヶ月	言動の未熟さや対人場面での課題を改善し、年齢相応の社会性が身につくよう留意する。
4	報酬依存傾向及び情緒面の課題に関する専門的評価と支援をしてほしい。	自身の気持ちや考え方について振り返る機会を持つことに挑戦する。	12ヶ月	●▲児童心療内科	診察やセラピーの場で、「自分の気持ちや考えを素直に伝える」よう努める。	12ヶ月	物的報酬への依存的思考や衝動的行動が見られる為、認知特性・情緒面の評価を受け、必要な心理的支援が受けられるよう留意する。
5	段階的登校(居場所代替可)および出席扱い等の実益を含む教育の機会を確保したい	週2回以上、短時間登校・別室登校又はオンライン授業に参加し、学校等と連携した学習活動を継続する事に挑戦する。	12ヶ月	ご家庭 ■★中学校(普通級・ステップルーム) 千葉相談支援事業所Guardian(ガーディアン)	自分の体調や気持ちを周囲に伝えながら、短時間からでも学校活動やオンライン授業への参加に挑戦し、「出席扱い等のメリット(反するデメリット)を意識」する。	12ヶ月	本人は登校意思を示している為、短時間登校・別室登校・オンライン授業及び関係機関と連携した学習支援を活用し、出席扱い等を含む教育機会の確保に留意する。
6	ご家庭・学校・関係機関連携の統括と家族負担軽減支援	支援を受けながら安心して生活し、自分の成長を前向きに捉えられるようになる。	12ヶ月	ご家庭 ■★中学校(普通級・ステップルーム) 千葉相談支援事業所Guardian(ガーディアン)	支援者との約束や話し合いに参加し、自分の希望や考えを伝える。	12ヶ月	各機関の支援方針を統合し、ひとり親家庭の負担軽減を図りながら、一貫性のある支援体制を維持する必要性に留意する。